

# 安全だより

## 無事故・無災害を目指して

2018年度(平成30年度)第5号

発行日：2019. 1. 29

発行：福山市新涯町二丁目21番30号

公益社団法人福山市シルバー人材センター

安全委員会

TEL (084) 953-5222

FAX (084) 953-5233

### 安全対策重点項目

[2月] 安全意識改革・・・「安全就業基準」を確認し、ルールを遵守する。

[3月] 機械器具点検・・・作業前には作業機械・器具の点検整備を確実にを行う。

## 事故発生状況について

前号発行後(11月27日)、傷害事故が2件、賠償事故2件の合計4件の事故が発生しました。

### [傷害事故]

#### ①脚立からの転落事故(12月5日)

塀の外にはみ出た枝を剪定するため、隣接する田に三脚脚立を設置し、開き止めを使用せず、また、固定もしないまま壁面に立てかけて使用していたところ、バランスを崩し、転落したものの。

#### ②帰宅時の交通事故(12月12日)

自家用車で就業途中、信号のない交差点に進入したところ、左方向から交差点に進入してきた車両と衝突したものの。

### [賠償事故]

#### ①草刈機による配線の切断(1月7日)

施設内を草刈作業中、草に埋もれていた配線に気づかず、切ってしまったものの。

#### ②トリマーによる電線の切断(1月11日)

カイツカの枝をトリマーで剪定中、ひとつの枝をすませ、次の枝に取り掛かろうとした際、電線に接触し、切断したものの。

### (まとめ)

今年度、傷害事故10件、賠償事故12件の合計22件となり、過去5年間で最悪の結果となりました。

これまでに発生した傷害事故の内容は、脚立や塀等高所からの転落事故と就業途中・帰途の事故がそれぞれ5件発生しています。

また、賠償事故の内容は、刈払機による小石等の飛散や接触等の事故が6件、トリマーによる切断事故が2件、作業したゴミを壁等へ接触させたことによる損傷事故が2件、その他の破損事故が2件発生しています。

これらの事故はこれまで何度も発生した内容であり、職域班会議やリーダー等を通じて注意喚起を図っておりますが、いまだに繰り返される理由としては、「他人事」と受け止めているからではないでしょうか。

「自分たちは大丈夫」「今までも起きなかったから今度も大丈夫」等、根拠のない考えを持ち、対策を講じないまま、漫然と仕事をしていれば、いつか必ず事故を起こします。

作業前ミーティングや危険個所の事前確認を徹底し、目印をつけたり、防護対策を行ったりする等の対策を講じるとともに、難しい場所から最初に取り掛かる等、具体的な取組を実行することが必要です。

安全対策に近道はありません。会員一人ひとりが、事故に遭わない、起こさないとの気持ちを持ち、今後、同じ過ちを繰り返さないよう、一丸となって取り組んでいきましょう。

## 交通安全講習会について

12月6、11、14日の3日間、北部市民センター、本部事務所、西部市民センターで警察の協力のもと、交通安全講習会を開催し、99の方が参加されました。講義では、高齢者の事故の特徴や事例のほか、安全対策等の話があり、有意義な時間を過ごすことができました。

### (事故の特徴等)

- 交通事故死者数全体の半数以上が高齢者
- 歩行中死者数の7割以上が高齢者
  - ・全死者数の6割は赤信号での通行や横断歩道が無い場所で道路を横切る等の法令違反
- 高齢運転手による死亡事故は、75歳未満の運転手と比較し、2倍以上の発生
  - ・車両単独事故が多く、特に工作物衝突や路外逸脱事故が多く発生
  - ・運転中死亡事故の要因としては、ハンドル操作ミスやブレーキとアクセルの踏み間違いが最も高く、全体の3割余り

また、高齢化の進展により、75歳以上の方の運転免許保有者数は10年前と比べ倍増しており、今後も増加傾向にある一方で、加齢による視野障害や身体機能低下、筋肉の衰えなどにより、運転時の操作ミスが起こりやすくなり、事故の危険性を指摘されています。

次のような症状が出たら要注意です。

- 右左折のウインカーを間違えて出したり、忘れてりする。
- 歩行者、障害物、他の車に注意が行かないことがある。
- カーブをスムーズに曲がれないことがある
- 車庫入れの時、塀や壁をこすることが増えた

万一、交通事故の加害者となれば、本人はもとより、家族にも多大な負担を掛けることとなります。

「若い頃とちょっと違うな」「おかしいな」と感じたら、勇気を持って自主返納を検討することも必要ではないでしょうか。

## 今時期の安全対策

### (1) 転倒予防について

寒くなると、外出を控える日が続く、運動不足から体もこわばり、転倒しやすい状況となります。

「転倒→骨折」は、寝たきりの第2の原因とも云われており、転ばないための身体づくりが必要です。

適度なウォーキングは転倒予防や骨粗しょう症予防にも有効と云われていますので、交通事故に気をつけて、身体に無理がない程度に実践してみてください。

### (2) 入浴中の事故予防について

入浴中の事故は、12月から2月にかけて、年間の事故数全体の約5割が発生しています。風呂場での事故を防ぐために、次のことを注意しましょう。

### 安心に入浴する6つのポイント

- ①入浴前に脱衣所や浴室を暖めましょう。
- ②温度は41度以下、湯に漬かる時間は10分までを目安にしましょう。
- ③浴槽から急に立ち上がらないようにしましょう。
- ④アルコールが抜けるまで、また、食後すぐの入浴は控えましょう。
- ⑤精神安定剤、睡眠薬などの服用後入浴は危険ですので注意しましょう。
- ⑥入浴する前に同居者に一声掛けて、同居者は、いつもより入浴時間が長いときには入浴者に声掛けをしましょう。